

みんなの 町議会

 神石高原町

第46号

平成28年4月15日

これなあ〜に？

- おもな事業をピックアップ 4
- 予算をチェック 6
- 町政のここを聞く 11
- ありやあどうなったん？ 21

が主役となる 現へチャレンジ

3月定例会

3月定例会は、3月2日から18日まで開かれました。町長が施政方針を述べた後、提出された平成28年度当初予算など、83議案を慎重審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。

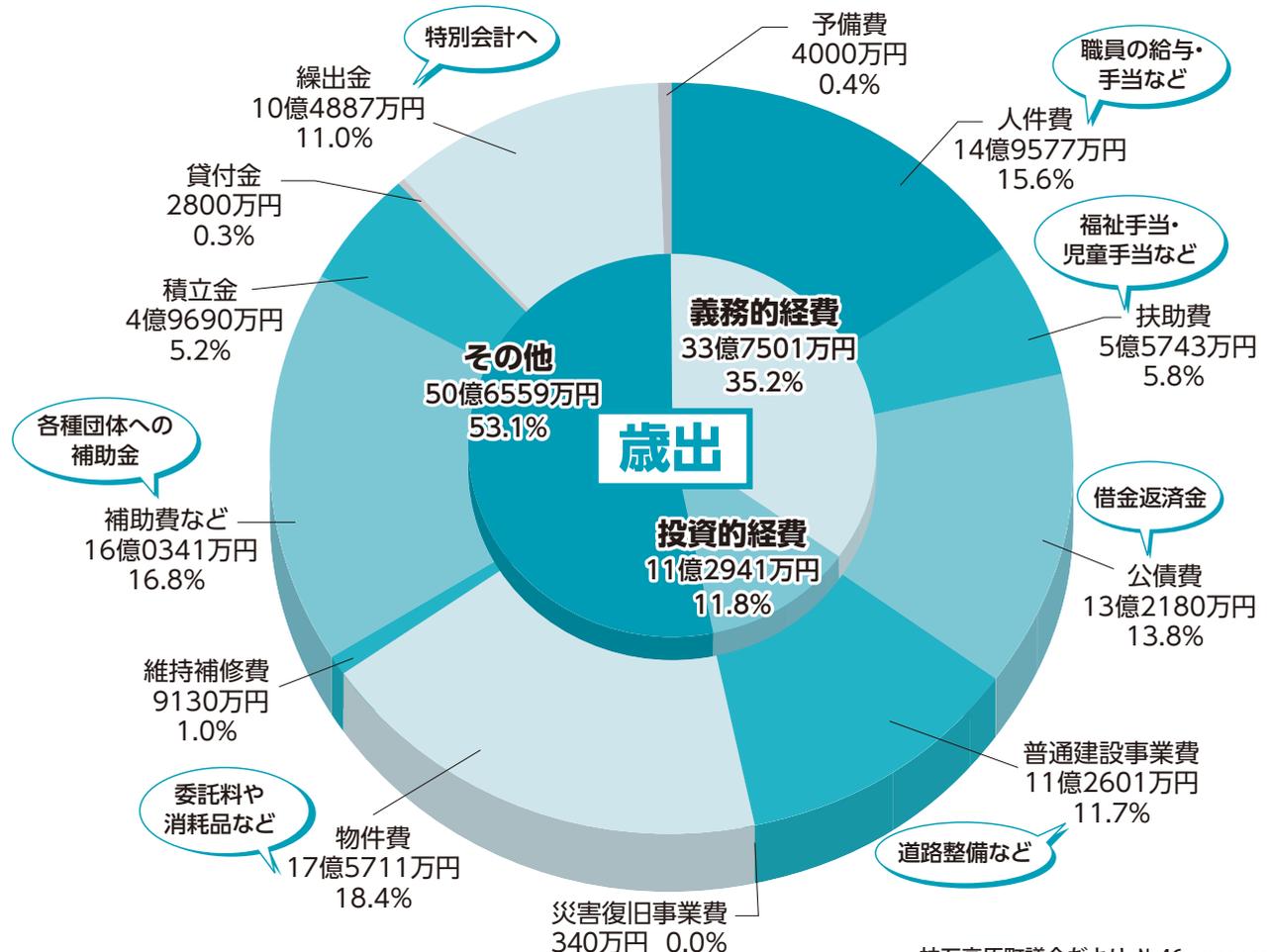
一般質問は9人の議員が、町政の課題についていただきました。

平成28年度 施政方針

「定住促進対策事業」を大幅に見直し、成果が見える事業へ転換する。特に、町の将来を担う子育て世代への支援策として、『出会いから結婚、出産、子育て、教育』までの「切れ目のない支援」を行う。すべての町民が活躍できる社会の実現と「地域力」を回復させる取り組みを強化し、次に掲げる各種最重要施策の実現に取り組む。

主な最重要施策

- ① 雇用の創出及び商工業の発展
 - ・ 起業家支援・中小企業の育成・企業誘致
- ② 定住者確保
 - ・ 定住促進対策の充実強化
- ③ 地域活性化支援
 - ・ 協働のまちづくり(協働支援センターの確立)
 - ・ 宿泊型体験施設の整備
 - ・ (ビレッジハウス仁吾川改修)
- ④ 子育て対策の充実
 - ・ 学校給食費の実質無償化
 - ・ 保育料などの実質無償化(第2子以降)
 - ・ いずみ保育所の整備準備



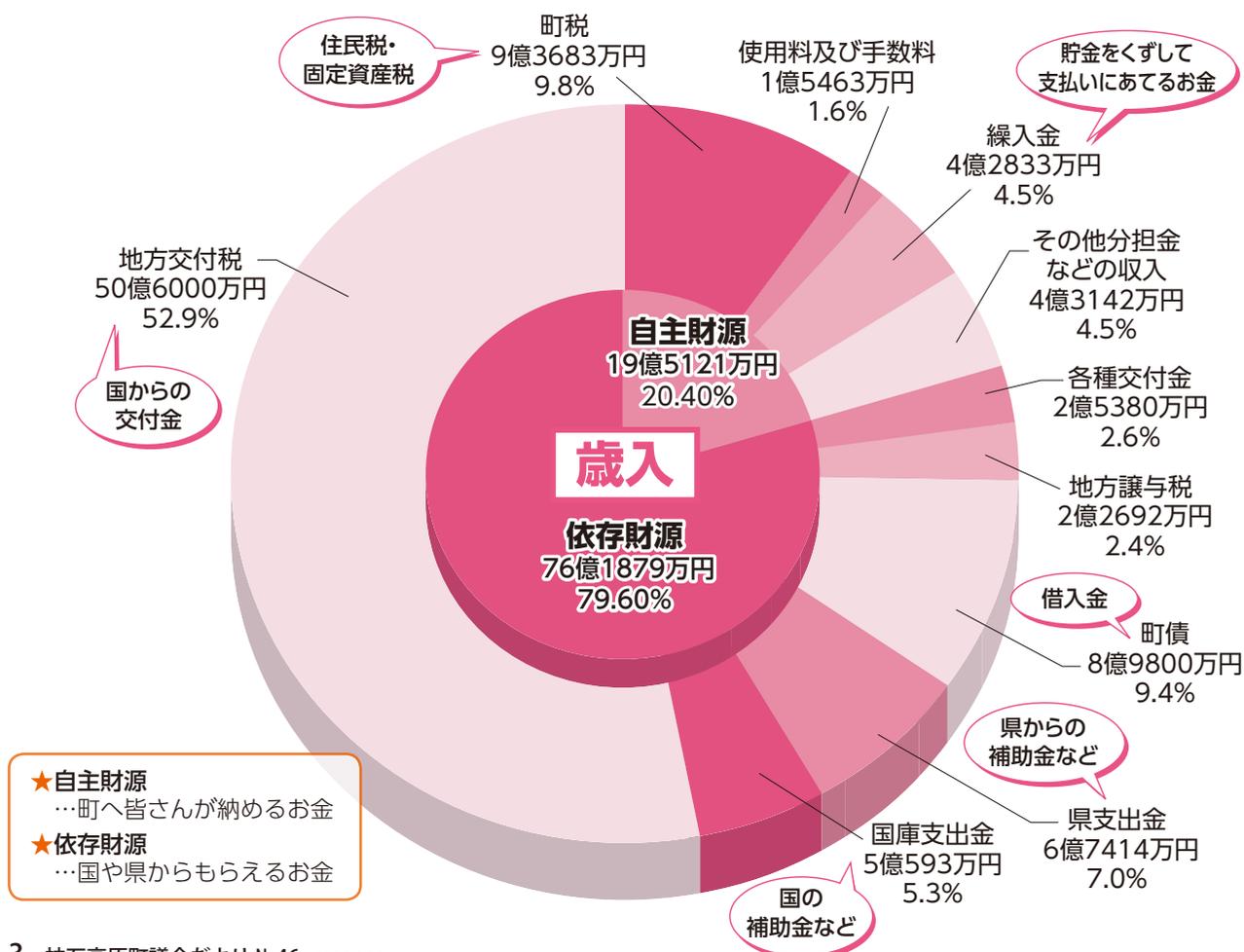
平成28年度 予算 一般会計 95億7000万円

若者や女性 農村社会の実

会計別予算総括表

単位：万円

会計名	H28年度	H27年度	比較	
	当初予算額	当初予算額	増減額	増減率
一般会計	95億7000	93億4000	2億3000	2.5
国民健康保険特別会計	12億7380	12億5380	2000	1.6
内訳				
事業勘定	12億7000	12億5000	2000	1.6
診療施設勘定	3800	3800		
後期高齢者医療特別会計	3億8350	4億0400	▲2050	▲5.1
介護保険特別会計	19億1550	18億9450	2100	1.1
内訳				
保険事業勘定	19億0000	18億7730	2270	1.2
介護サービス事業勘定	1550	1720	▲170	▲9.9
簡易水道事業特別会計	3億8720	2億5100	1億3620	54.3
飲料水供給施設事業特別会計	3520	3940	▲420	▲10.7
農業集落排水事業特別会計	2億4670	2億5150	▲480	▲1.9
総合開発事業特別会計	590	2840	▲2250	▲79.2
分収育林事業特別会計	10	5	5	100.0
特別会計計	42億4790	41億2265	1億2525	3.0
病院事業会計	3億3197	2億9711	3486	11.7
合計	141億4987	137億5976	3億9011	2.8



ピックアップ

規



豊松小学校校舎・
グラウンド改修
5200万円



学校給食実質無償化
3000万円



協働支援センター
運営経費
7394万円

充



有害鳥獣被害防止
対策補助
500万円



血統神石牛雌子牛導入・
肥育素牛導入
2000万円

平成28年度

おもな事業を

新



消防団の備品配備
477万円



保育料第2子以降
全額補助
1542万円



シルトピアカレッジ
図書館の指定管理
2153万円

拡



出会い・結婚・出産・
子育て・住環境まで
切れ目のない支援



新規就農者支援事業
1137万円

神石高原町議会予算特別委員会 委員長報告へ抜粋

橋本輝久 委員長

審査結果は、平成28年度神石高原町一般会計予算、ほか8特別会計予算及び平成28年度神石高原町病院事業会計予算の10案件について、全議案とも全委員の賛成により、原案どおり承認すべきものと決定した。



一般会計は、前年度に比較して額で2億3千万円、率にして2.5%増となっている。「神石高原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの実行に伴い、補助費を中心に全項目で増額予算となっている。事業を注視しながら、経常経費の抑制に努め、確実に実行し成果が現れることを望む。

特に、次あげる項目について参考にし、予算執行をするよう意見した。

1. 町の将来を担う子育て支援策として、出会いから結婚、出産、子育て、教育までの切れ目のない支援をしており、大いに期待する。
2. 医療の核となる町立病院は、現状を直視し、早急に診療科目及び医療収益を精査し、町立病院の在り方について引き続き検討をすべきである。
3. 新年度は、協働支援センターが4月に設立される。協働という大きなテーマで、人と人が協力し支え合うコミュニティの構築を早急に確立し、協働支援センターが核となり、新しい地域社会を築き地域力を回復させ、活性化につながるよう期待する。

さあ議員全員で 予算をチエツク

総務課

路線バス

横山委員 乗車便が平日と土日では違うため、高校生がクラブ活動へ行く手段がない。中国バスに要望できないか。

総務課長補佐 現実には厳しい。平成28年度、乗車人数の少ない便は、減便になる予定。

行財政改革は

久保田委員 行財政改革プランの実施で27年度までの削減額は、

総務課長 平成26年度末2億5千3百万円だ。27年度は確定していない。

久保田委員 27年度遊休財産の処分額は、
総務課長 95万円。

期日前投票所

久保田委員 町立病院に期日前投票所を設置できないか。

総務課長補佐 町立病院は感染症対策などをしなければならず、むずかしい。

解体費の補助は

久保田委員 特定空き家の撤去は、多額の費用が掛かる。解体費の補助制度ができないか。

総務課長 固定資産税の住宅軽減があり、空き家が撤去されにくい。が検討したい。

地方公会計は

木野山委員 地方公会計は、全額委託料だが総務課はかわらないのか。

行財政係長 入力作業は業者委託だが財産把

握など業者判断が可能なものは町職員がかわっている。

受給該当者に

小川委員 若者定住や子育て支援などの新規事業がある。

受給該当者には、申請するように連絡するサービスを行ったかどうか。

総務課長 広報誌などで行う。

学校教育課

アレルギー対策は

横山委員 豊松共同調理場の委託期間を5年にした根拠は。また調理師の体制・アレルギー対策は万全か。

学校教育課長 人材育成面・経営面から5年とした。調理師は4人を確保している。食物アレルギー対応につい

ては、現在と同様に除去食対応をとっていく。

漢字能力検定料

木野山委員 漢字検定の補助を拡充したが啓発は。

教育長 国語力が弱いと教科の理解が進まない。全体で周知するよう取り組む。

生涯学習課

図書館指定管理

横尾委員 町長の重要施策に中小企業の育

成がある。

シルトピアカレッジ図書館の指定管理者に町内業者を育成目的になぜ指名しなかったのか。

町長 町内の中小企業や商店が衰退していることは憂慮している。今後のまちづくりで一番やらなければならぬことである。

横山委員

図書館指定管理の公募から選定までの期間が2ヶ月と短い、本当に的確な業者選定ができたのか。生涯学習課長 他の自



昨年神龍湖に発生した藻

治体とほとんど同じ期間設定である。昨年10月に入って協議や他

市町への視察を行ったため、制度導入の周知が遅くなったのは否めない。

寄定委員

指定管理制度導入による町立図書館運営の事業効果は。

生涯学習課長 住民サービスの向上につながる。

環境衛生課

水質調査は

横尾委員 神龍湖の平成28年度の水質調査と対策は。

環境衛生課長 中国電力の詳しい調査データを提出していただく。また平成28年度は関係団体で協議会を発足させる。

臭気調査は

寄定委員 産廃業者の臭気や煙はいまだ改

善してない。臭気調査を休日や夜間に実施できないか。

環境衛生課長 平成22年の臭気指数規制導入時から継続調査をしている。休日や夜間の臭気調査は現在の予算では困難だ。

まちづくり推進課

協働支援センターは

木野山委員 自治振興会活動経費は、協働支援センターへの一括交付金に移行となった。職員の仕事量の軽減につながるのか。

また、自主財源確保の活動に制限はあるのか。

まちづくり推進課長 長い目で見ると軽減となる。補助金にたよると活動が限られる。財源確保のため、大いに活動して頂きたい。

横尾委員

協働支援センターの事務所が確定していない地域の対応は。

まちづくり推進課長

神石地区の事務所は、確定まで神石支所に配置する。今後は、公民館の事業を勘案しながら決定する。

久保田委員

協働支援センターの交付金は、人口割が5割から6割になり周辺部は交付金が削減になった。変更した理由は。

まちづくり推進課長 自治振興会連絡協議会で協議した結果決めた。

ふるさと納税は

木野山委員

①ふるさと納税の奨励の拡充は。

②協働支援センターへの寄付は出来るのか。

③交付金の使途についての報告は。

まちづくり推進課長 ①インターネットなどを利用し、ふるさと産品の広報を行い産品の拡充を図る。②補助要綱を変更すれば可能だ。



シルトピアカレッジ図書館

③ある程度の期間まとめて報告頂いている。

広島テレビPR

赤木委員 広島テレビでのPRが観光メインで行うということであるが、町の施策をPRしてもよいのでは。

まちづくり推進課長

基本的にはタイムリーな観光情報であるが、冬場には施策の情報発信も行う予定だ。

福祉課

建設計画は

横尾委員 いずみ保育所の移転建設に伴う

特別養護老人ホームの建設計画の動向は。

福祉課長 要望があれば併せて検討したい。

建設課

府中市側の改良は

赤木委員 フライトロードへのアクセスの



箱わなでの捕獲

産業課

捕獲鳥獣の処理

久保田委員 捕獲鳥獣の加工所を設置した場合、有効活用ができるのか。

産業課長 有効活用させるためには、住民の盛り上げがりの声が必要だ。



旧神石中学校跡地

国・県の予算活用を

村上委員 新規就農者支援事業に国・県の予算を最大限活用しているか。

産業課長 補助要件に合う18事業で、補助金額256,580千円の助成を見込んでいます。

村上委員 神石牛づらランドの再構築に国・県の予算化が町の予算に反映しているのか。

産業課長 販売店の拡大と販売量の増加に向けた一体的な推進事業に反映している。

増殖計画は

赤木委員 ナマズの6次産業化で平成30年度には12万匹を目標としているが、具体的な計画はあるのか。

産業課長 可能な数字であると考えている。当面草木地区に法人を作り養殖を行っていく予定である。

完了年度は

赤木委員 地籍調査事業で以前は、平成43年に終了の予定であったが、予算では平成37年が終了年度になっている。どのようにして前倒ししたのか。

産業課長 第6次国土調査事業十カ年計画（平成22～平成33）で示す完了年度は平成37年度となっている。平成32年に見直される第7次計画で具体的な完了年度が見直される予定だ。

住民課

グーグルマップの検討は

村上委員 地図空中写真閲覧サービスやGIS税務を今年度取り入れられるがグーグルマップなども検討したのか。

住民課長 検討しているが不具合があるようだ。

病院事業会計

政策医療交付金は

木野山委員 政策医療交付金の1億3900万円は、平成27年・28年ともに同額だが、変更はないのか。

病院事業係長 平成27年度の町立病院の決算見込みは約7500万円の不足が生じる見込みだ。平成28年度の補正予算で不足分を提案したい。

3月補正予算

平成27年度 一般会計補正予算

単位：万円(四捨五入)

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	20	9137	職員人件費 20
総務費	1億0356	19億5459	地方創生加速化交付金事業 7064
民生費	2982	18億5542	年金生活者臨時福祉給付金事業 6718
衛生費	▲3049	10億6709	病院事業会計補助経費 ▲2005
農林水産費	▲8232	8億9547	担い手経営発展チャレンジ事業 ▲1982
商工費	▲800	1億9241	雇用促進奨励助成事業 ▲160
土木費	▲8685	6億1808	社会資本整備総合交付金事業 ▲8063
消防費	▲1307	4億8507	消防施設整備事業 ▲844
教育費	161	7億6163	小・中・高校教育支援事業 515
災害復旧費	▲1317	4423	現年発生道路橋りょう災害復旧事業▲901
公債費	▲882	14億5045	長期債利子償還経費▲961
諸支出金	4億0642	11億5949	財政調整基金積立経費4億638
予備費	0	4000	
合計	2億9890	106億1530	

3月補正

一般会計では、2億9890万円追加補正され、総額106億1530万円となった。

一般会計補正予算の主なものは、社会資本整備総合交付金事業8063万円などを減額し、財政調整基金積立経費4億638万円、年金生活者臨時福祉給付金事業6718万円などを増額した。

特別会計を含む、全会計の総額は151億2597万円となった。

特別会計・病院事業会計補正予算

単位：万円(四捨五入)

会計名		3月補正	補正後予算額	
特別会計	国民健康保険	事業勘定	3657	13億3209
		診療施設勘定	5	385
	後期高齢者医療		▲5005	3億6231
	介護保険事業	保険事業勘定	230	19億1047
		介護サービス事業勘定	0	2119
	簡易水道事業		410	2億5838
	飲料水供給施設事業		0	4341
	農業集落排水事業		10	2億6338
	総合開発事業		215	3182
	分収育林事業		0	5
	小計		▲478	42億2695
	病院事業会計		▲1753	2億8372
合計		▲2231	45億1062	



雪どけマラソン (神石)

補正予算質疑



建設中の犬舎（スコラ旧キャンプ場）

学校教育課

水道施設の破損は

横山議員 1月の大寒波により神石高原中学校で水道施設が破損した。今後はこういう事が起きないように万全を期して欲しい。

学校教育課長 想定外の大寒波とはいえ、生徒に迷惑をかけた。今後二度と起きないように修繕し整備していく。

まちづくり推進課

森林セラピーのコースは

久保田議員 スコラ高原キャンプ場に犬舎を

建設している。そこは森林セラピーのコースになっており、ふさわしくないのでは。

まちづくり推進課長 セラピードッグと歩ける森林セラピーのコースとして活用したい。

17人の配置は

橋本議員 集落支援員が25人予算計上してあったが、実績は17人であるが理由は。

まちづくり推進課長 17人は各振興会からの要望で配置した人数だ。

さんわ温泉の見通しは

片山議員 温泉工事は確かな見通しが無い。しきり直しが必要では。

まちづくり推進課長 動力を使った揚水をする必要があるが、結果が出るのは3月末になる。しかし、決議を頂いた事業は執行を考えている。

福祉課

申請もれの対策は

寄定議員 年金生活者等支援臨時福祉給付金のスケジュールと申請もれの対策は。

福祉課長 受付期間は4月1日から7月1日までで、随時申請書がまとまり次第支払する。チェックをして告知放送なども行う予定だが、申請されない方もある。

総務課

全域のカバーは

橋本議員 消防デジタル化対応無線整備が完了した。中山間であるため、全域をカバーできないが対応をどうするのか。

総務課長 カバー率は、約80%だ。送受信できない地域では、携帯電話などで対応する。

一般質問

町政のこころを聞く

質疑の一部を要約してお伝えします

質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式



横尾 正文 議員

問 空き家の整備・運営と流動化支援は

答 改修費・家財撤去費を補助する

Q 体験入居による空き家の整備・運営

と空き家流動化支援は。また、空き家などの財産についてのアンケート調査は。

A 町長 新年度予算

において、空き家活用事業として「お試し住宅」の改修費1軒150万円を2軒分を予算化している。空き家の流動化を促すために、「空き家バンク」に登録する所有者に対して家財撤去費10万円

を補助する。

アンケート調査は、町外の空き家所有者に対し、5月の固定資産納付書送付時にアンケート用紙を同封し、実施したい。

Q 空き家改修支援・家財撤去費などは、もっと思い切った支援が必要では。

A まちづくり推進課長 検討に値することなので、年次ごとに実績を見ながら検討したい。

Q 特定空き家の条例化は。

A 建設課長 広島県空き家対策推進協議会で調整している。

平成28年度の早い時期に判断基準が示される。その結果によって出来るだけ早い時期に条例化を考えている。

土砂や流木の撤去を

Q 治山ダムの調査と土砂や流木の撤去及び、ひび割れの修繕は。

A 建設課長 広島県において、治山ダム事業を実施されている。調査は、平成27年度に実施している。町内355基についての調査結果は、修繕の必要性があるとの報告はなかった。

しかし、今後変状などが確認された場合は、県と調整し対策を検討したい。

優秀な人材の登用を

Q 総合戦略は、PDCA(計画・実施・評価・改善)サイクルによって、さらなる取

り組み強化が必要であるが、取り組む組織は。

また民間活用は、どのように考えているのか。

A 町長 評価・改善の提言は、本町の総合戦略策定時に関わった策定委員会に審議をお願いする予定である。

総合戦略を進めていく上では、地域住民団体や民間事

業者などの役割分担と協働を推進する必要がある。具体的には、個別事業の施策計画・実施における民間委託の割合目標を掲げることにしている。

人材については、時代に即した提案として真摯に受け止め、参考にしたい。



砂に埋もれた治山ダム

問 将来につながる施策は

答 切れ目のない子育て支援など



橋本 輝久 議員

Q 普通交付税の合併算定替えが平成26年度で終了し、平成27年度から段階的に縮減がはじまっている。今後厳しい財政運営が予想されるが、平成28年度予算編成では、将来につながるべく施策は何か。

A 町長 移住定住者の確保を目的とした支援として、既存の定住促進対策事業を大幅に見直し、より効果が創出できる事業にリニューアルした。とくに、切れ目のな

い子育て支援対策として、若者世代の負担を軽減し、出生数の増加と定住者を確保するとともに安心して子育てできる環境を整備する。

また保育料の第2子以降の実質無償化や、学校給食費の実質無償化を実地する。

早急に検討を

Q 医療の核となる町立病院は、町民に愛される病院でなければならぬ。

医療機器の更新も必要な事だが、現状を直視し、早急に診療科目及び医業収益を精査し、町立病院の在り方について再度検討し方向性を出すべきではないか。

A 町長 診療科目に關との調整が必要である。検討委員会におい

生きる力を

Q 体力は、人間の発達・成長を支え、人として創造的な活動をするために必要不可欠なものだ。

そして人が知性を磨き、知力を働かせて活動をしていく源である。体力・知力・気力が一体となって、人としての活動が行われていくものであり、体力は「生きる力」の極めて重要な要素となるものだ。

町内の小・中学校生徒の体力は、県内で

て、一定の方向性を出していききたい。

医業収益増の取り組みについては、いかに病院経営を効率化するかなど、収支の改善を図るための協議を続けており、平成28年度には新たな収益向上対策に取り組む。



昨年の豊松小学校運動会

の程度なのか。また体力向上に向けての取り組みは。

A 教育長 町内の状況は、男女ともに過半数の項目で県平均を上回っている。

下回っている項目は、小学校で男女とも長座体前屈と50メートル走、女子のみ握力とボール投げだ。

中学校では、男女とも持久走と立ち幅跳びである。

この結果を受け、各学校では課題を設定し、体育の授業で発達段階に応じた指導とともに、中学校では部活動の充実、小学校では日常的な体力づくりに取り組んでいる。



久保田 龍泉 議員

問 県立グローバルリーダー育成校の誘致を

答 油木高校の魅力化の強化へ

Q 広島県教育委員会
は、全寮制、併設
型中高一貫教育校（グ
ローバルリーダー育成
校）の基本構想を発表
した。生徒360人で
高等教育機関の誘致は
魅力ある事業だ。至急
要望書を提出し本町へ
の誘致をすべきでは。

A 教育長 設置場所
の基準が示され
た。県議会で議論され
ており、誘致の可能性
を研究したい。町では
油木高校の連携型中高
一貫校の指定をうけて
おり魅力化への取り組

みを強化したいと思
いだ。

Q 油木高校とは、教
育目的が違う。す
でに他の市町は動いて
いる。基本構想が発表
になり、誘致の手を挙
げるよう町長に進言し
た。町幹部にこの情報
を伝えたが、よく知っ
ておらず、今後県の情
報は早く入れるべき
だ。大崎上島町は12月
には県知事に要望書を
提出している。

A 選定場所は、自然豊
かな学習環境で、5 ha
の敷地が条件。経済波
及効果は大きく自然豊
かな本町は可能性があ
るのでは。

A 町長 県庁内での
協議は公開されて
いないので、場所はわ
からない。

空き家対策は

Q 空き家等対策計画
の策定は。

A 町長 県空き家対
策推進協議会で特
定空き家の判定基準に
ついて調整している。

Q 特定空き家（倒壊
の恐れのある空き
家）は町内に何軒ある
か。

A 町道沿いに倒壊の恐
れのある危険な空き家
が見受けられる。事故
の可能性があるので、
所有者に撤去の要請を
しているが、対処して
もらえない。町として
早急に指導、勧告を行
うべきでは。

A 建設課長 軒数は
調査していない。
空き家対策推進協議会
で、特定空き家の判断
基準が示されたら早急
に対応する。

木材の利活用は

Q 推進協議会によっ
て事業の可能性を
調査研究中だが見解
は。

A 町長 木材価格の
低迷で山林の関心
が薄れている。バイオ
マス利活用で山林の関
心と雇用の創出を狙い
とする。

Q 庄原市のペレット
工場は製造能力に
余裕がある。

A 町長 利活用の協
議会で検討してお
り、答申を待ちたい。
切り出しと集積が可能
であれば、庄原市への
持ち込みなどの交渉の
余地はある。



庄原市ペレット工場

問 持続可能な町政運営の取り組みは

答 協働支援センターの機能強化を支援



寄定 秀幸 議員

Q 持続可能な町政運営の基本方針と取り組みは。

A 町長 「三つの過剩」解消の継続が必要。行財政改革、定員適正化計画の確実な実行と歳入に見合った歳出の予算編成が基本だ。

協働のまちづくりに対する理解を広め、住民や地域の主体的活動を助長することが重要である。そのため、協働支援センターの設立と運営支援、機能強化

が重要だ。

Q 協働支援センターの果たす役割と課題は。

A 町長 町民、各種団体、企業、公共的団体、行政など多様な主体が創意工夫し、ともに行動することが大切である。住民が主体的に地域の課題解決に取り組みそれぞれの地区を創りあげていく「協働支援センター」は、この取り組みの拠点となる。

協働支援センター機能が発揮できるよう一括交付金などの財政支援と人的支援を行う。

若者定住対策は

Q ①出会い、結婚、出産、子育て、教育を切れ目なく包括的に支援する具体的な取

り組みは。

②雇用、企業誘致、Uターン促進、若者定住の具体策は。

A 町長 ①定住促進対策関連事業を強化。1歳の誕生日と小・中学校入学時の祝い金、保育料の第2子目から実質無償化、給食費実質無償化など切れ目のない積極的支援を行う。

②就業、住居、子育て環境などの情報を集積化し、総合的に情報提供できる体制を構築する。

都市部の高齢者を

Q 「日本版CCRC」に対する考えと方針は。

A 町長 「日本版CCRC」は、東京圏など都市部の高齢者が地方に移り住み、生

活できるように地域づくりを行うことと理解している。町の総合戦略に、高齢者や障がい者などが安全に暮らせる環境の整備や健康寿命の延伸などを盛り込んでいる。

Q 住民の満足度や暮らしの安心感を醸成することが最重要で

は。

A 町長 住んで良かったといえる満足度や、暮らしの安心感が得られるよう、行政運営をしていきたい。

その他の質問

・防災・減災対策について



とよまつ保育所入所式



木野山 孝志 議員

問 長期的な戦略は

答 地方創生総合戦略の実現

Q 本年度予算は町長の集大成の予算といわれるが、

①町政運営に取り組んだ成果及び課題と目標は。

②町の今後の見通しは。

③長期的な戦略は。

A 町長 ①成果は、債務を212億円から131億円に減り、基金積立総額は111億円となっている。健全化比率が改善

され、実質公債費比率が21.9%から10.1%になった。最重要課題は、自主財源の確保である。目標は、新町建設計画に基づく計画的事業実施、自主財源確保に向けた取組の強化、歳入に見合った歳出による予算の執行である。

②人口減少・高齢化に歯止めがかからず、財政的にも更に厳しさが増す。必要な施策は、子育て支援の充実、農業・畜産及び商工業の振興、協働のまちづくり、第2定住団地の整備である。

③まち・ひと・しごと創生総合戦略の実現に向け取り組む。

Q 自主財源確保対策は、税収確保、寄付金、基金運用などを考えるべきでは。

A 町長 産業の活性化、農林業・畜産と商工業、観光に力を入れ町の総合力、行政力、財政力を積上げていく。自主財源増への強い意志が必要だ。

A まちづくり推進課長 ふるさと産品に力を入れインターネットなどでアピールしたい。商工会からも提案されているので本年度中に取り組む。

A 会計管理者 総額111億円を積立

ている。そのうち定期預金が63億円、国債、地方公共団体債を28年度末で20億円とする。27年度の基金の運用益は利息を加えて約3千万円となる予定

だ。リスクを伴うが総務課行財政係と連携しながら自主財源確保に努めたい。

郷土愛を育む教育を

Q 地域に誇りを持ち、自分の住む町を愛する心を持つ事が大事だ。教育目標に「郷土の歴史、伝統文化への理解と愛情を持ち、果敢に挑戦」と

あるがどう取り組むのか。

A 教育長 自分たちの生活地域が誇れる地域である事を知るために、郷土の歴史は道徳教育地域教材に基づき、伝統文化は神楽などを地域の方を講師として招き、学習している。教職員も資料に基づき研究・工夫し指導体制をとっている。



かわいい踊りを披露する子どもたち（神石・利芳美会）

問 本町の農業活性化 予算は

答 国・県の事業予算を最大限活用



村上 克朗 議員

Q 今年度の施政方針には、人口減少に歯止めをかけ、引き続き新たな特産品の開発や6次産業化の推進、神石高原ブランドの確立、情報の発信などを行い地方創生事業に取り組むとある。

A 町長 国・県の農政施策予算が、本町の農業活性化や雇用の創出に、どう反映していくのか。

町長 県は「ひろしま農業創生事業」を新規に創設し

た。新規就農者への初期投資の軽減を図るため、県とJFA中央会が創設した基金を活用しハウスのリースなどを行う事業を積極的にやっていく。

Q 国のTPP大筋合意を踏まえた農林水産業の体質強化対策予算を、どう本町の予算化に反映しているのか。

A 町長 TPP関連政策大綱に基づく対策として、経営力向上など「攻めの農林水産業」に向けた政策を推進しており、本町も対策を進めていく。

限られた町単独の財源では十分な支援は到底かなわれないが、国・県の事業予算を最大限活用して行く。

地域を支える人づくりは

Q 若い世代を中心に、地域づくりの原動力となる多様な主体の活動を促進するため、重点的地域を支える人づくりの取り組みが必要では。

A 町長 県の中山間地域人材ネットワーク事業は新規であり、本町も当初予算へ負担金を計上している。

Q 首都圏の若者とひろしま里山交流プロジェクトの展開に向けた企画・支援は。

A 町長 中山間地域の価値に共鳴する多様な人材の実践活動によって、里山の豊かさを未来につなぐ政策である。昨年から実施している首都圏在住者との繋がりをつくる里

山ウエーブ拡大プロジェクトも継続して実施し、新しい人の流れをつくっていく。

県教委への要望

Q 油木高校の寄宿舎解体について、本町に説明があったか。

A 教育長 県教委から、寄宿舎解体の説明はなかった。

Q 新しい寄宿舎が完成すると一ヶ月も経たないのに、相談もなく解体するのは常識がないと思う。

A 産業課長 トマト栽培の夏場作業員の一時的な宿泊できる施設と考え、県教委に問い合わせした経緯があったが、老朽化の建物であり不調に終わった。

建物の利用はできなかったのか。



首都圏の若者との交流



松本 彰夫 議員

問 町財政の確立は

答 行財政改革・自主財源の確保

Q 合併後11年で、積極的に町の振興策

に取り組みながら、借金を大幅に減らし、基金(貯金)を増額している。今後更に財政状況が厳しくなるが、今後の方針は。

A 町長 3つの過剰の解消(人員・債務・施設)。行財政改革、定員適正化計画の実行。各種補助事業の見直し。自主財源の確保。新町建設計画に基づく事業の実施などを

継続して取り組む。

Q 職員の削減については、単に減らすだけでなく、住民サービスの内容、仕事量に見合った職員を確保すべきだ。

A 町長 定員適正化計画と合わせて検討する。

保育士の採用を

Q 保育士の採用は。

A 町長 現在の児童数に対する保育士は充足しており、採用は考えていない。

Q 充足していると言われるが、各保育所とも臨時職員を多く雇用している。1歳児・2歳児の保育を始めると、保育士が不足

するのではないか。

A 福祉課長 不足する場合は、臨時職員の採用などで対応している。

Q 油木高校からも毎年保育科に進む生徒がいる。町長は若者の定住や女性が活躍する町を目標にしている。保護者からも保育士の充足の希望がある。保育士の採用を検討すべきでは。

A 町長 臨機応変に考える。

新年度の目標は

Q 協働支援センターの新年度の目標は。

A 町長 生活圏の拠点づくりを進める

ための核となるのが協働支援センターと考えている。

将来に向け、自主的・主体的に取り組むため、各地域のまちづくり計画を策定する。

Q 協働支援センターの中で公民館の位置づけは。

A 町長 平成28年度で、協働支援センターで行う事業と調整を図り、公民館の位置づけや役割を検討し、方向を定めたい。



油木保育所退所式

問 新庁舎建設委員会の 立ち上げを

答 次期首長の判断に任せる



赤木 俊二 議員

Q 新庁舎建設は、任期中には道筋をつけたいと実に意欲的だった。原資となる合併特例債が6年延長となったためか、途中からは考えていないといった発言に変わった。
耐震の問題や合併時の内容や、建て替えをどうするのかなど含め、早いうちに協議会なり検討委員会なりを立ち上げ解決に向けて進むことが必要では。

A 町長 近隣市町の状況を見ると庁舎建設は、大変複雑な要素がある。議会の承認も必要であり、そこが読めないに進めない。震度6以上の強震の場合は倒壊の恐れもあるので、いずれはクリアしなければならぬ。次の首長が志をもって4年で進めれば合併特例債も間にあう。

Q 町長は今期で勇退の意思表示をされた。場所の問題も含め多種多様なメンバーで委員を構成し、次の世代に移すために準備をする必要があるのでは。

A 町長 いくら今の町長が組織を作って検討をしても次の首長が継続しないと意味がない。首長として前任者の施策を引き継ぐ割合は経験から

いっても6割程度。するのであれば志をもって1期目なり2期目で行うべきだ。当然、議会も意見をまとめていただく必要がある。

地域を愛する教育

Q 学校教育法では、我が国と郷土を愛する態度を養うことなどが教育の目標とされている。その教育の場において地元と密着し住民の生命・財産を守り、ボランティアで活動している消防団は郷土を愛する先達として十分な教材であると考ええる。

A 教育長 学習指導要領には地域の人々の安全を守るための諸活動という項目が

あり、町独自の教材で消防署が紹介されている。当然消防署と消防団は違うが、道徳や社会科で地域を愛するという項目がある。そういった時間にゲストティーチャーとして地元消防団から任務や活動内容の話を聞くこともできる。

Q 崇高な理念をもって地域のために一生懸命活動している消

防団への関心を高める必要がある。阪神淡路大震災や東日本大震災での消防団の活躍を教材として取り上げてもよいのではないか。

A 教育長 家庭でも消防団活動のことを教えていただきたい。また、そういった教材があれば活用できるし、地元から学校に来ていただくのが良いと考える。



地域を守る消防団 消防署との合同訓練



横山 素子 議員

有害自動販売機の設置の把握は

答 条例に基づき立入調査をしている

Q 町内にある有害と
思われる自動販売
機について、設置の把
握と調査はしているの
か。

A 町長 広島県青少
年健全育成条例第
45条に基づく県との業
務協定書により、福祉
課で立入調査を実施
し、県へ報告してい
る。

Q このまま放置して
も良いのか。

A 福祉課長 平成20
年度から調査をし
ているが、県条例に違
反しているとまではい
えない状況だ。

Q 条例に違反してい
ないとはいえ、こ
のような自動販売機が
町内にあるという事
は、ふさわしくないと
思うが、撤去させる事
はできないのか。

A 福祉課長 立入調
査で県条例に違反
しているとわかれば、
まず町が指導をし、改
善されない場合は県へ
報告する。

県は、有害指定の図
書類の除去命令をす
る。除去しない場合は
自動販売機の撤去命令
を出す事になっている。
今後も県と連携し
て的確に立入調査を

行っていく。

協力隊の成果は

Q 地域おこし協力隊
の制度は本町では
平成23年から取り組ん
でいる。これまでの成
果は。

A 町長 1期目の2
人も定住している
し、3月末で4人卒業
するが、4人とも町内
に定住する事が決まっ
ているので、定住を目
的とすればまずまずの
成果と思う。

Q 任期は3年間と
なっているが、短
い期間で本当に目的を
達成できるのか。

A 町長 3年という
期間で定住する事
が理想である。期間が
長いか短いかの議論も

あるが、現在の形で継
続すべきと考える。

Q 任期終了後は、定
住や起業に対する
支援はできないか。

A 町長 昨年度か
ら、起業支援を行
う補助金もあるのでそ
れを活用して欲しい。

Q 隊員を採用する
時、農業や観光な
ど特化した募集はでき
ないか。

A 町長 全国の取り
組みには、そうい
う募集事例もあるが、
定住するためには、受
入体制が充分でない事
には制度が発揮できな
いと思う。今後検討し
たい。



牧野町長と任期を終えた地域おこし協力隊員

条例制定・改正 こんなことが決まったよ

全会
一致

人 事

- ・人権擁護委員
- 東 幸子さん (再任)
- 宗田 秀信さん (再任)
- 横山 礼子さん (新任)

賛多
成数

新規

指定管理者の指定

- ・神石高原町シルトピアアカレッジ図書館
- 株式会社 図書館流通センター (他新規7施設)

継続

- ・神石高原町スコラ運動公園多目的広場等施設
- 株式会社 帝釈峡スコラ (他継続22施設)

全会
一致

条例制定他

- ・神石高原町協働によるまちづくり条例
- 協働のまちづくりの推進方策、その他必要な事項を定める (他5件)

全会
一致

条例の一部改正

- ・議会議員の報酬及び費用弁償等
- 議員の報酬を次の任期から月額3万円増額

- ・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等
- 教育委員・農業委員等の報酬の増額

- ・特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費
- 町長・副町長の給与を次の任期から増額

- ・国民健康保険税条例の改正
- 事業の基盤を安定させるための負担増 (他16件)

全会
一致

計画の策定

- ・神石高原町過疎自立促進計画
- 過疎地域自立特別措置法の一部が改正されたため

全会
一致

工事契約の締結

- 工事名 旧油木中学校
- 校舎・寄宿舎等解体工事
- 請負者 村上建設株式会社
- 請負金額 8510万4千円

全会
一致

町道路線の認定

- ・宇賀線
- 神石高原町福永く草木 1954m (他1路線)



3月定例会での執行者側

追跡ありやあどうなったん？

油木高校「はやぶさ塾」

「はやぶさ塾」は、福山市の私塾の協力により、町が補助（約400万円）し、平成27年4月に開校した。平成27年度の受講生は1年生10人、2年生14人の合計24人だった。

3月現在、平成28年度の受講許可人数は50人であり、受講希望者は、新2・3年生が12人なので、多くの受講生を募集している。

この塾は、油木高校でもしっかり勉強に取り組めると受講生にとっても好評で、今年度は入学者の増加や特に地元からの進学者のアップにつながっている。



はやぶさ塾の授業風景

- ①対象生徒 大学進学（短大・医療系学校を含む）を希望する1・2年生（平成28年度から3年生含む）
- ②内容 個別演習形式、複数名の塾講師によるコーチング
- ③教科 数学・英語
- ④日時 毎週水・金曜日（18：30～20：30）
但し、祝日や長期休暇は除く
- ⑤期間 前期：4～10月（約36日72時間）
後期：10～3月（約36日72時間）
- ⑥受講料 1教科一期当たり9千円

全会一致

議員発議

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、B型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されている。医療費助成の対象から外れている患者が相当数にのぼる。特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

○ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

提案者 神石高原町議会議員 橋本 輝久
賛成者 神石高原町議会議員 久保田龍泉

お知らせ

第4回議会報告会

日時と場所

5月24日(火) 三和公民館
 5月25日(水) 陽光の里文化ホール
 5月26日(木) じんせきの里
 5月27日(金) 油木コミュニティセンター

時間

19時～21時

テーマ

- 町立病院の在り方
- 教育環境の充実
- トマト栽培推進について
- 有害鳥獣対策と
神石牛ブランドの推進



皆様の声をお聞かせ下さい。
 多数のご参加お待ちしております。

まちの声

○人口減少などで議員さんの定数が2人減になりますが、地域の活動にもより深く取り組んで頂ければ幸いです。

(81才 女性)

◎議員一人ひとりが自覚をもって取り組んでいきます。

○新しい道路を作るのもいいですが、今ある道路をもっと走りやすく直して下さい。(26才 男性)

◎予算に制限がありますが、安全な町道整備に努めます。

○若い人がUターンできる環境づくりを

して欲しいです。

(79才 女性)

◎平成28年度は、子育て支援策など充実を図っています。U・Iターンにつながるよう町内外にアピールしていきます。

○議会だよりをいつも楽しみに読んでいます。わかりやすい誌面と地域の写真もいいですね。これからも頑張ってください。(59才 女性)

◎ありがとうございます。多くの方に読んで頂けるようにこれからも努力して参ります。

○地方創生を一番に実現して頂くように皆様で努力邁進して欲しいです。

(77才 女性)

◎まちの発展のために頑張ります。

○私は現在油木高校に通っており、町の事業や予算に大変興味を持っていきます。町からの油木高校への支援を大変ありがたく思っています。

(18才 男性)

◎ぜひわが町に住み、活躍されることを期待しています。

○町立病院の会計は前より早くなりました。診察室・待合室で呼ばれても聞こえない高齢者の方がいます。マイクをつけ

表彰

片山元八郎議員が、町議会議員として、在職15年以上の功績を称えられ、全国町村議会議長会より表彰されました。



片山元八郎議員

「みんなの町議会第42号」が第36回議会広報コンクールと第33回議会広報写真コンクールにおいて、共に最優秀賞を受賞しました。この受賞を励みに、さらに住民の皆様に関心される広報誌を目指して頑張ります。



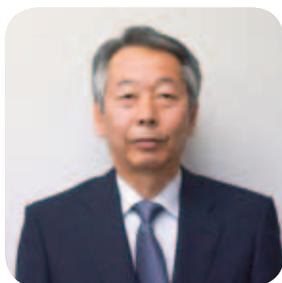
議会広報常任委員会

橋本委員

横山委員長

横尾委員

赤木副委員長



藤井 義弘
前事務局長(退職)

よろしく
お願ひします



お世話に
なりました

られたらいいと思います。(72才 女性)
 ◎貴重なご意見ありがとうございました。これからも細やかな配慮をするよう要請します。
 ◎高齢者の多い町になりました。年々友人も病に倒れていきます。
 ◎少しでも楽しかった町で晩秋を迎えたいと思いますので、地域ケアシステムをよろしくお願ひします。(82才 女性)

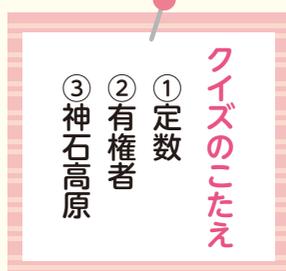
◎高齢者支援も重要な課題です。しっかりと目を向けていきます。
 ◎今暮らしている住民が安心安全で幸せを感じる町になるよう頑張ってください。(52才 男性)
 ◎みんなが笑顔で暮らせるまちづくりを精進してまいります。

第27回 議会クイズ当選者

神石地区

池田 ヤチヨさん

おめでとうございます。



元気なグループ紹介だよ



軟式野球チーム
油木ブルドッグス

油木ブルドッグスは、小学生の軟式野球チームで、毎週2回（月・木曜日）練習に励んでいます。年間を通じて、町大会や招待試合に参加したり練習試合を行っています。

指導の基本は、野球の技術や基礎体力の向上はもちろんですが、チームメイトを思いやり道具を大切に、自らきちんと挨拶ができるようになるなど、これからの成長に必要な社会性を身につけるよう力を入れて取り組んでいます。

現在1年生から6年生までの総勢18人が、シーズン中は天神原グラウンドで、冬期間は油木体育館で、勝利を目指し、「熱い」練習をしています。

また、油木ブルドッグスでは新規入部者を募集しています。野球は、打ったり投げたり走ったりキャッチしたりと、全てが組み合わさった最も親しみのあるスポーツです。小学生なら誰でも歓迎ですので、興味のある方は是非一度見学に来てみてください。

第28回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. 平成28年度 一般会計
〇〇億7000万円
2. 一般質問 将来につながる施策
は 切れ目のない〇〇〇支援
3. ありやあどうなつたん?
油木高校「〇〇〇塾」

《ヒント》 議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》

〒720-1522
神石高原町小島二〇二五神石高原町議会事務局「第28回議会クイズ係宛」

《締め切り》

5月10日（火）消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報 は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか？ 次回の定例会は6月です

表紙の紹介



油木保育所のめろん組（0・1才児）のおともだち

編集後記

平成28年度当初予算では、学校給食の実質無償化や協働支援センターなど、新たな取り組みや拡充した事業もあります。特に切れ目のない子育て支援策などで、町外からの定住者確保に期待をしています。今後も人口減少に歯止めをかける施策を最重要課題として取り組んでいきます。議会報告会では、皆様からのご意見をお聞きする時間がありますので、多くのご参加をお待ちしています。（赤木）

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 横山 素子 |
| 副委員長 | 赤木 俊二 |
| 委員 | 橋本 輝久 |
| 委員 | 横尾 正文 |

■発行 / 神石高原町議会

■編集 / 議会広報常任委員会

■発行責任者 議長 藤田晃己

■住所 / 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201